

A1280	国鉄70系0・300番台 横須賀線・スカ色A 6両セット	予価:21,800円(税別)
		JANコード:132555 カートン内入数:12

A1281	国鉄70系0・300番台 横須賀線・スカ色B 6両セット	予価:21,800円(税別)
		JANコード:132562 カートン内入数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	中距離用電車80系をベースに、国鉄では近郊型70系を1951(昭和26)年に登場させました。クハ76、モハ70、サロ46(のちのサロ75)が製造され、80系同様の前頭部を持つ20m級の車体は3扉セミクロスシートにまとめられました。製造年次によって細かな改良が行われ、特に1957(昭和32)年より製造された最終グループはノーシル・ノーヘッダの全金属製車体、アルミサッシ・蛍光灯・扇風機標準装備などのモデルチェンジが行われ、300番台に区分されました。300番台の先頭車は両栓構造で奇数・偶数の区分が無くなったほか、運転台直後に小窓が設置されたのも特徴です。当初は横須賀線に投入され、「青2号」と「クリーム2号」のツートンカラーに塗られていましたが、1963(昭和38)年以降に現在同様の「青15号」と「クリーム1号」の塗装に改められました。横須賀線の70系は最盛期の1963(昭和38)年には最大175両が配置され、ラッシュ時には6両編成2本を併結した12両編成で活躍していました。また、2等車には80系からサロ85を転用して組み込んだ編成や、70系投入以前から活躍していたクモハ43・サハ48などを組み込んだ編成も存在しました。のちに後継となる113系の増備が進行した事により、1968(昭和43)年までに全車が横須賀線から引退しました。
商品概要	・マイクロエース近郊型電車シリーズの更なる充実 ・クハ76・モハ70の300番台車を新規作成 ・ヘッドライト、テールライト点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付) ・フライホイール付動力ユニット搭載 ・AセットとBセットで異なる車両構成。番台違い、車番違いで12両編成に対応

青とクリームのスカ色

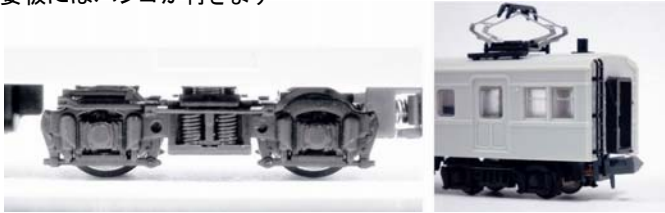


・クハ76、モハ70の300番台のボディを新規作成



・モハ70 049・052・050の台車は新規作成のDT20を使用

・妻板にはハシゴが付きます



・クハ76 041は木枠の前面窓を再現

・モハ70 300番台妻面の回送用ヘッドライトは非点灯です

編成図 A1280

クハ76 305

モハ70 306

モハ70 300

サロ75 007

モハ70 049

クハ76 303

ライト (M) ライト

←東京 横須賀→

編成図 A1281

クハ76 041

モハ70 044

モハ70 052

サロ75 006

モハ70 050

クハ76 301

ライト (M) ライト

←東京 横須賀→

オプション	幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001
付属品	行先シール